

三角点って何？

読者に
応える



連載「京都の山々」で「地蔵山」を「府内一高い一等三角点」と紹介したところ（11月11日付）、「一番高い山ではないのでは」「一等と二等の違いは何か」といった質問が読者から寄せられた。三角点は標高ではなく、地図作成のために位置を示す基準で、明治時代に選定されたものが今も利用されている。（日下田貴政）

高さではなく位置を示す



地蔵山の山頂に埋設されている一等三角点の標石(手前)
＝京都市右京区

地蔵山は、愛宕参りで有名な京都市右京区の愛宕山の北方にあり、標高は947呎。宇治市の男性(80)は「地蔵山は府内で一番高い山ではないのか。一等三角点とは」と疑問を手紙で寄せた。
府内で一番高い山は、京都市左京区北部にある標高971呎の皆子山だ。地蔵山は「一等三角点がある山」としては府内で一番高い。つまり、標高と一等三角点は別だ。
「三角点は高さではなく位置(経緯度)を示すもの。一等三角点は地図作成のために明治時代に設置されたものです」。三角点の研究をし、現地踏査を重

一等は明治時代設置 地図作成の基準点

ねている「二等三角点研究会」の大槻雅弘会長(78)＝京都市西京区＝が教えてくれた。
三角点は国が地形図を作成する際に選り、経度や緯度の基準になる。日本全土を網羅し、国土地理院発行の地形図では「△」と記される。現地には花こう岩でできた標石が埋められている。最初に設置されたのが一等三角点で、他の2点と結んで三角測量を行った。三角の一边は約45呎。なお、二等は8～10呎、三等は3～4呎、四等は1.5～2呎となっている。

三角点には「点名」がある。設置された年月日や所在地、経過をまとめた記録を「点の記」という。例えば、地蔵山の一等三角点は1886(明治19)年8月8日、陸軍大等技手によつ



地蔵山の山頂に記載されている三角点(国土地理院発行2万5千分1地形図 京都西北部)

×モ 一等三角点は全国に974カ所ある。京都府内には七つで、標高が高い順に①地蔵山(947呎)、②長老ヶ岳(916呎)、③太鼓山(883呎)、④鷲峰山(681呎)、⑤磯砂山(660呎)、⑥多弥寺山(556呎)、⑦烏ヶ岳(536呎)。日本で一番標高が高い一等三角点は、南アルプスの赤石岳(標高3120呎)にある。

て埋標されたと書かれている。点名は山名と一致するとは限らない。大津市のびわ湖バレイに隣接した蓬萊山(標高1173呎)にある一等三角点は「比良ヶ岳」となっている。

三角点は見晴らしの良い場所に設置されるが、必ずしも山頂にある訳ではない。登山道のない場所や無人島に置かれたものもある。

一等三角点研究会は7年前、「一等三角点全国ガイド」をまとめた。その時点では未踏で収録できなかった2点のうち一つが鹿児島県の無人島・臥蛇島(がしだま)だ。大槻さんは2年前、船をチャーターして上陸し、地形図を頼りに斜面のやぶをかき分け、標石を見つけた。

「一等三角点があれば地形図はできなかった。明治時代に選定された場所が今なお生き続けている。どんな所にあるのか訪ね歩くのも登山の魅力です」と話す。